授業科目		*専門演習Ⅱ(友原)					単位		2			
履修	<u> </u>	必修	関連資格					ナンバリ	 ング	TO31805J		
開講年次		3 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP5-2	DP1-2 DP1	1-3 DP2-1	DP3-1 DP4	1-1 DP5-1		
担当教員		友原 嘉彦		1		1						
授業概要 学生が達成 行動日標	なすべき	1. 現実に起きている観光事象を取上げ「実学」を重視します。そのため必要なフィールドワーク(校外学習)を行いその過程で社会観とマナーを養うことができます。 2. 観光の理論を学ぶとともに、実践の場として様々な学外での取り組みに挑戦します。休日も年間10日間程度の活動が予定されています。この日は、サークル活動やアルバイトも制限を受けます。きついな、と思うこともあるでしょうが、実社会と関わっていくことで確実に成長できます。15年度は以下のような学外活動に取り組みました。 ①れとろこまち(注) ②関門地区フィールドワーク ③門司港、小倉におけるインバウンド誘致活動 3. 時事問題や観光事象を題材に、発表や議論をしながら卒業研究と就職への視野を広げていきます。 4. タコパから旅行まで楽しいイベントも行ないながら、メリハリをつけた学生生活を送り、卒業するときには「木沢ゼミでよかった」と必ず思えます。 注:れとろこまちは、毎年4月末~6月末と10~11月の約4ヶ月間のみの運営の予定です。										
行動目標 ————		できる。										
				達成度 □	を言半1曲 	※主/□						
評価と評価割合/ 評価方法		試験	小テスト	レポート	発表(ロ 頭、プレ ゼンテ ーショ ン)	レポート 外の提 出物	その他	合計	備考			
総合評価割合			0	0	25	25	25	25	100			
知識•理解	(DP1-1)				12				12			
知識•理解	(DP1-2)					12			12			
知識·理解 (DP1-3)						12		12				
知識·理解 (DP1-4)												
思考·判断 (DP2-1)				13				13				
思考·判断 (DP2-2)						10		10				
関心·意欲 (DP3-1) 関心·意欲 (DP3-2)						13		13				
第心・息欲 (DP3-2) 態度					13			13				
態度 (DP4-2)												
態度 (DP4-3)												
技能·表現 (DP5-1)							13		13			
技能·表現 (DP5-2)								12	12			
技能•表現	(DP5-3)											
				具体的な遺	■成の日安							
理想的レベル				標準的なレベル								
論文作成の基本マナーを体得しており、4年次の「卒業研究」にスムーズに進むことができる。				1					論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく口頭および論文で述べる能力を習得できている。			

授業計画						
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習•復習)	予習·復 習時間 (分)		
1	1~30回のすべてのテーマ・講義内容については、第1回目の授業で担当者によって説明されます。学科共通研究行事として、キャリアをテーマにした授業があります。					
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						

22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
理解に必要な予備 知識や技能		2 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。							
テキスト		担当者により、説明がされます。							
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介									
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ		日頃から新聞雑誌等を読み、テレビ・ラジオ、ネットでのニュースに関心をもっていることが大事です。知識の枠組みを広げることが基本です。							
達成度評価に関するコメント		4年次には、無理なく卒業研究に取り掛かることができるように、卒業論文作成のマナーの基本を体得しているようにしましょう。							